

平成 28 年度グローバル高専事業について

高専機構では、平成 26 年度に茨城高専及び明石高専をグローバル高専として選定し、高専教育並びに教員及び学生の国際化を先導的に進める高専モデルを推進してきました。

平成 28 年度からは、上記 2 校の事業のこれまでの取組みの成果を効果的に展開するとともに、より多様な取組みを並行して実践することにより、高専機構全体のグローバル化を加速するため、新たにグローバル高専事業（展開型）を実施することとしました。

1 グローバル高専事業（展開型）の目的

高専における英語教育のすそ野拡大及び高専生の英語運用能力のベースアップを図るため、中学校における英語教育と、高専における技術者として必要な英語教育との円滑な接続を図るプログラムの開発・実践を行うこととしています。

【具体的内容】

(1) 教育カリキュラム作成

グローバル人材育成を実施するためのカリキュラムの検討・作成を行う。なお英語の授業は英語で行うことを基本とし、平成 28 年度内にこれを実践する。

(2) 教育実践・研修

教員の研修、外国人教員、専門スタッフ、TA の拡充等を行い、作成したカリキュラムに基づいた教育を実践する。

2 平成 28 年度グローバル高専事業（展開型）実施高専

平成 28 年度グローバル高専事業（展開型）を実施する高専は、各ブロック内の協議及び高専機構本部の審査を経て、次のとおり決定しました。

【ブロック拠点校】グローバル教育に関する知見等をブロック内の高専に展開し、グローバル人材育成教育の向上に中核的な役割を果たす（各ブロック 1 校）。

ブロック	第 1	第 2	第 3	第 4	第 5
高専名	八戸	福島	岐阜	津山	鹿児島

【その他校】特色ある取組みによってグローバル人材育成を行う（全国で 2 校）。

ブロック	第 4	第 5
高専名	徳山	熊本

3 平成 26 年度グローバル高専事業実施高専

平成 26 年度にグローバル高専として選定された茨城高専及び明石高専の事業については、平成 28 年度も継続して実施し、これまでの実績を踏まえつつ、更に高度化を図ることとします。

【両校のこれまでの取組み】

（茨城高専）<http://www.ibaraki-ct.com/>

（明石高専）<http://www.akashi.ac.jp/global/>